

分野(1)

小児・思春期を対象とした環境保健事業の事業実施効果の適切な把握及び  
事業内容の改善方法に関する調査研究

研 究 課 題 名 : ぜん息キャンプ・水泳教室・音楽教室の効果的な実践及び  
改善のための評価手法に関する研究

調査研究代表者氏名 : 宇理須 厚雄

評価コメント

- ・eNOの測定が、ぜん息の長期管理の上で有益であることが示された点を評価する。
- ・NOと各種指標との関連性が明らかになりつつあるが、まだ検討課題が多いと思われるので引き続き研究を進めて欲しい。
- ・呼気中のNO測定の意義を明らかにしてもらいたい。
- ・機能訓練事業の場を、ぜん息コントロール状態を評価し、自己管理能力の教育をする場とし位置づけて機能を明確にし、経過を観察する指標について検討したことは評価される。今後、これらの指標を駆使して、コントロールの改善に機能訓練(身体訓練、呼吸訓練等)がどのように寄与するかについても検討を願いたい。
- ・研究項目が四部に分かれ、各々の関連が分かりにくいこと、各々の事業への参加人員に比して検討症例数が少ないことなど今後への課題が残る。また、キャンプ・水泳・喘息教室の効果をこれらのパラメーターで評価できるか否かについても、内外の文献的検討も行うことや、データの論文化が求められる。
- ・FeNO(呼気終末NO濃度)の正常値の設定、V50/V25低下例でのFeNO低下のメカニズムなど、さらに検討を要する。
- ・IOS、呼気濃縮液などサイトカイン値との対応性もさらに要検討。
- ・同じ研究班の中で呼気NOの研究が別々の共同研究者によって行われているが、研究テーマと研究方法を統一して共同してやった方が、研究費の配分という点でも効率がよい。